

# 北九州市民の会ニュース

## 小倉十日ゑびす祭

北九州市小倉北区商店街を練り歩く小倉十日ゑびす祭「宝恵（ほえ）かご道中」は、1月10日（金）10時から行なわれ、地区労連事務所のある黄金市場には10時30分くらいから練り歩きが始まり、事務所の中まで「商売繁盛ヨイヨイサー！、商売繁盛ヨイヨイサー！、商売繁盛ヨイヨイサー！」のかけ声が聞こえてきます。

この行事は、昭和23年から70年以上続いている街に福を呼び込む縁起練り歩きです。商店街の従業員などから選ばれたミス恵比寿が芸者姿で商店街を練り歩くものです。（堀田和夫氏FBより）



## 地区労連旗開き

北九州春闘共闘連絡会、北九州地区労働組合総連合共催で、2020年新春旗開きが、1月10日18時15分から小倉北区リーセントホテルで開かれ、市内の労働組合や民主団体、政党、



法律事務所などから130人を超える参加で大きな成功を勝ち取りました。

情勢を反映し、新春旗開きの雰囲気は、「トランプに従属し、日本を戦争に巻き込む安倍政権は、倒さねばならない。野党連立政権をつくり、みんなが豊かに暮らせる民主的な社会をつくろう。」という決意がみなぎっていました。各テーブルでは談笑があり、すべての参加組合員の紹介もあり、とても楽しく、闘いのスタートを誓い合えた旗開きで、最後は、団結がんばろう！でした。

## 新成人“一番の願い”

### 長崎 晴れ着でヒバクシャ署名

「『ヒバクシャ国際署名』をすすめる長崎県民の会」は12日、成人式会場の長崎ブリックホール（長崎市）のロビーで署名行動に取り組みました。晴れ着やスーツに身を包んだ新成人は「核兵器はいらない」とペンをとり、約1時間で184人が署名しました。

被爆者で「県民の会」共同代表の田中重光さんら30人が参加。「祝成人」と掲げられた横断幕にはローマ教皇の核廃絶のメッセージも記され、「成人の日に核廃絶の署名を」と協力を呼びかけました。

キリスト教信者で、長崎でのローマ教皇のミサに出席したという女子大学生は「教皇のメッセージに感動した。被爆地

（写真）「核兵器はいらない」と署名する新成人＝12日、長崎市

をつくらないためにも力になりたい」と署名しました。



韓国の民族衣装チマチョゴリをアレンジしたドレスを着た女性は「韓国が好きで日本と韓国を行ったり来たりしています。韓国は戦争中（北朝鮮と休戦状態）なので核兵器は絶対なくなしてほしい」と署名しました。

地元の女子大学生は「核兵器廃絶は一番しなきゃいけないこと」と語り、ペンを走らせました。（しんぶん赤旗より）

## 北九州市の新成人9576人

北九州市の成人式は、12日メディアドームであり、新成人9576人のうち約7100人が参加。例年、派手な衣装で注目される北九州市の成人式だが、今年も奇抜な衣装や髪形の若者の姿があった。式の進行を無視して私語を続ける若者もいたが、大きなトラブルもなく式は終了した。（朝日新聞記事を略記）

平和とくらしを守る北九州市民の会  
〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F  
Tel093-592-5000 FAX093-571-4346  
http://siminnokai.sakura.ne.jp  
e-mail:koe@siminnokai.com

買い物、病院、郵便局、銀行、区役所など

# 高齢者福祉乗車券で移動の支援を

北九州市の高齢率は20政令市中トップです。高齢者のうち4割が、家族の車や車の免許もない交通環境にあり、高齢者の免許返納などで公共交通への依存度が高くなっています。買い物や病院、銀行など生活に欠かせない生活交通の確保が強く求められています。

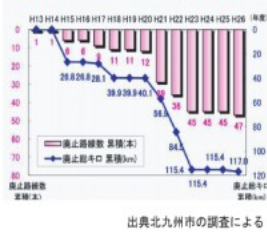
## バス路線廃止で不便地域が広がる

平成14年2月の道路運送法の改訂でバス路線の廃止など、許可制から事前届出制に改定されました。これにより不採算乗合バス路線からの撤退が原則自由になり、本市では平成13年～26年までに47路線(約117km)が廃止されました。

公共交通空白地域は鉄道駅から500m以上、バス停から300m以上の地域ですが、現在市内人口の20%がこれに該当する地域に居住しています。

今後、小倉南区をはじめバス路線の撤退などにより公共交通空白地域は拡大することが予想され、交通弱者への支援が必要です。

■年々進むバス路線の廃止

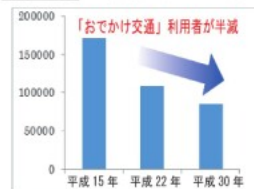


## このままでいいの？市の「おでかけ交通」

北九州市が実施している「おでかけ交通」は、路線バスが廃止となった地区や高台など、元々バス路線が存在しない地区など、市内7地区で地域を主体にタクシー事業者と市が協力して事業が行われています。その利用者は、ピーク時の平成15年の17万人から平成30年度は85,559人と半減、全路線が赤字で、赤字への運営補助も100%の補填ではなく、事業者が負担となり運賃が引き上げられているのが実態です。

市議会の建設・建築委員会の報告書では、

「現在のルールでは行き詰まっている感があるため、新たな施策についても検討すべき時期にある」との指摘がされています。



## 誰でも利用できる公共交通の確立が必要です

## 高齢者にやさしい誰でも利用できる公共交通へ

# 他都市に学んで、北九州市にも

## 福岡市 「市民の移動の保障」を条例でハッキリ

福岡市では2010年3月に「公共交通空白地等及び移動制約者にかかる生活交通の確保に関する条例」が制定され、前文で「公共交通空白地等、及び移動制約者にかかる生活交通を確保し、もって活力ある地域社会の再生に寄与するという決意のもと、この条例を制定する」とうたわれています。

目的にも「すべての市民に健康で文化的な最低限度の生活を営むために、必要な移動を保障し」と、市民の移動の保障が示されています。

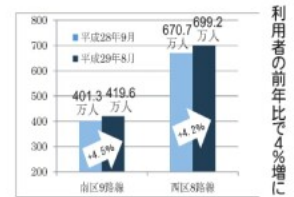
福岡市では、70歳以上の高齢者を対象にJR、バス、タクシーで利用出来る高齢者乗車券制度(下表)を実施しています。



福岡市	利用できるのりもの	対象条件	助成内容
高齢者乗車券制度	地下鉄全線、JR九州、西鉄バス、昭和バスなど タクシー助成券 ※1乗車につき1枚(500円)のみ使用可能	前年度所得額200万円未満の70歳以上	所得に応じて年間12000円または8000円まで、カード、タクシー乗車券等を交付

## 新潟市 交通ネットワークを市の責任ですすめる

新潟市では、交通ネットワークを市全体の交通政策として確立されており、支線(区バス)、生活路線(住民バス)の組み合わせにより、乗客が増加しています。(右表)各区単位を生活交通と位置付けて、行政が赤字補てんするなど、市が責任を負っています。こうした交通体制に学び、路線維持への補助制度を含む整備が必要です。



## 北九州市でも「高齢者福祉乗車券」の実現を

全国13政令市で高齢者への交通割引補助制度があります。福岡市や広島市ではタクシーや介護タクシーにも使える助成制度を行っています。高齢者が社会参加するための移動の確保が

必要です。高齢者や障がい者の通院や買い物、社会参加を支援するために、タクシー・JR・モノレール・バス等で利用できる「高齢者福祉乗車券」の実現へ力を合せましょう。

## 署名にご協力ください

連絡先 平和とくらしを守る北九州女性の会  
北九州市小倉北区田町13-21 592-5000

### <当面の日程>

- 01/18 Sat 福島の高校生が語る、東日本大震災とドイツで学んだ「再生可能エネルギー」  
14:00~15:30 生涯学習総合センター  
さよなら原発北九州実行委員会  
第3回さよなら原発北九州集会実行委員会  
15:40 生涯学習総合センター
- 01/19 Sun 平和ネット：北九州集会 14:00  
生涯学習総合センター  
浦島悦子さんと語る会 10:00  
生涯学習総合センター
- 01/22 Wed 市民の会事務局会議 10:00  
市民の会事務所
- 01/24 Fri 国民救援会北九州総支部主催「再審制度を考える学習会」  
講師：今里晋也弁護士18:30  
戸畑生涯学習センター
- 01/25 Sat 憲法ネット連続講座：コスタリカの軌跡DVD上映 14:00 生涯学習C
- 01/30 Thu 高齢者福祉乗車券の実施を求める請願署名スタート集会  
18:30 戸畑生涯学習センター  
主催：市民の会・女性の会

### <当面の日程>

- 01/30 Thu 「くらしと福祉」編集委員会 10:00
- 02/01 Sat 憲法共同センター総会 14:00  
生涯学習総合センター  
講演：白神優理子弁護士 500円
- 02/15 Sat 野依いさむさんを偲ぶ会 14:00  
若松市民会館小ホール
- 02/19 Wed 平和ネット19日定例行動 18:00~  
小倉駅デッキ  
区民の会・市民の会交流会 10:00  
生涯学習総合センター

### さよなら原発金曜行動

18:00~19:00  
小倉駅デッキ  
1月24日、1月31日  
2月7日、2月14日